

遺族の友

発行所
一般財団法人滋賀県遺族会
滋賀県大津市京町4丁目3-28
(滋賀県厚生会館1階)
電話 (077)522-7227
FAX (077)522-7233
発行責任者
滋賀県遺族会会長
松浦 友一

沖縄「近江の塔」戦没者追悼式典 および戦跡慰霊巡拝に参加して

竜王町遺族会 西村久一

去る5月6日から8日まで、滋賀県遺族会主催の令和7年度沖縄「近江の塔」戦没者追悼式典および戦跡慰霊巡拝に参加しました。

達した飛行機の着陸が出来るまで、伊丹空港に戻らなければならず、翌日午後再出発というアクシデントに見舞われました。今年には幸い天候にも恵まれ、暑さを心配していましたが、3日間曇り空で、快適に予定通り慰霊巡拝を進められました。



今回は来賓として、岸本織江滋賀県副知事をはじめ、多数の滋賀県議会議員、武村展英衆議院議員、森中高史守山市長、市議会議員等多数の関係各位にご参加をいただき、心か

戦後80年迎える比島に巡拝

大津市堅田学区遺族会 田中正彦・千恵

リカ軍が直接地上で戦闘を行った場所であり、子供やお年寄りを含む大勢の人たちが犠牲となった島であります。

4月1日、沖縄本島中部読谷村に上陸し、北と南に分かれて進みました。南に向かったアメリカ軍は、日本軍の本部があつた首里を目指し、軍を進めました。中部および首里で行われた日本軍とアメリカ軍の戦いは、40日以上続く激しいものでし

た。5月下旬、日本軍は南部へ撤退しました。沖縄は住民を巻き込んだ激しい戦場となり、多くの人が犠牲となりました。沖縄戦が終わったのは、日本軍の司令官が自分で命を絶った6月23日と言われますが、その後もいろ

いろな場所で日本兵の抵抗は続きました。そのため、日本軍が降伏文書にサインしたのは9月7日のことでした。激しい戦場となった土地と、戦争犠牲者となられた多くの皆様に対し、心から哀悼の誠を捧げたいと思います。

念合同慰霊祭には、滋賀県知事の代理として山田忠利健康医療福祉部長の列席をいただいた。遺族会オンリーではなく、県民の代表として県知事代理や県議会議員、議員の皆さんが海外戦跡慰霊巡拝団に加わっていただけることは、かの地に眠る戦没者にとっても大変心強いものである。

15年ぶりのフィリピン戦跡慰霊巡拝は、おそろくこれが最後と思われるとともに、うれしいことに、戦没者の孫として長男啓介が私たちと一緒に参加してくれた。当初は長女の千香子も含めて4人揃って巡拝参加を計画したが、仕事の都合で長女は参加できなかった。私は昭和52年7月に初めてフィリピンを訪ね

た。比島桃陵遺族会(京都市)主催の慰霊団として、レイテ島ドラグ海岸、ブラウエン飛行場跡地、カンキボット山麓の3か所に「平和の塔」を建立するというものであった。メンバーの中で当時最も若い私は先発隊作業員に選ばれ、現地の作業員と共に日本から持ち込んだ「平和の塔」御影石を積み重ねていく作業に従事するとともに、除幕式の設営を行い、慰霊団の到着を待ったのである。ブラウエン飛行場跡地では除幕式のテープを引く一人に選ばれ、感激した思い出がある。

今回のブラウエン飛行場跡地での慰霊法要には、滋賀県議会村國俊議長が議会代表として参加された。巡拝団の全行程に加わっていただいた周防清二滋賀県議会議員とともに、現地における

慰霊法要の中で、遺族の「英霊の顕彰」「平和の希求」する姿をつぶさに見ていただけたことは、今後の県議会種々課題解決を大いに深めるものと確信して、大変ありがたいう巡拝になったと思う。

義父がフィリピンで戦死されたという前阪良憲氏は、平素から膳所公園滋賀県英霊塔の毎月法要でお世話になっている大津市仏教会の会長職に就いておられるとともに、今回は貴多成道僧侶と二人で現地での慰霊法要のお勤めをいただいた。カリラヤ日本庭園での平和祈



た。比島桃陵遺族会(京都市)主催の慰霊団として、レイテ島ドラグ海岸、ブラウエン飛行場跡地、カンキボット山麓の3か所に「平和の塔」を建立するというものであった。メンバーの中で当時最も若い私は先発隊作業員に選ばれ、現地の作業員と共に日本から持ち込んだ「平和の塔」御影石を積み重ねていく作業に従事するとともに、除幕式の設営を行い、慰霊団の到着を待ったのである。ブラウエン飛行場跡地では除幕式のテープを引く一人に選ばれ、感激した思い出がある。

今回のブラウエン飛行場跡地での慰霊法要には、滋賀県議会村國俊議長が議会代表として参加された。巡拝団の全行程に加わっていただいた周防清二滋賀県議会議員とともに、現地における

慰霊法要の中で、遺族の「英霊の顕彰」「平和の希求」する姿をつぶさに見ていただけたことは、今後の県議会種々課題解決を大いに深めるものと確信して、大変ありがたいう巡拝になったと思う。



次世代戦跡訪問研修に参加して

次世代活動委員会 辻和雅

本年度の鹿児島方面次世代戦跡訪問研修は、3月28日から3日間、県内の小中高生37名、引率者11名の参加で実施されました。

研修初日は、串良町の地下壕電信指令室と串良平和公園を訪問。串良基地から出撃した特別攻撃隊から送られてくる最後の電信モース信号の途

代の参加者の生徒たちは、戦争時代の悲惨さや生きざまに心寄せていたようでした。

次に、万世平和祈念館を見学。ここでも一生懸命メモを取っている参加生徒の姿が。初日ということもあり、平和について必死に勉強している様子が目に入ってきました。

2日目は、朝一番に花瀬望比公園内にある比島戦没者慰霊の碑の前で、



戦跡を訪れて

滋賀県立膳所高校 1年 柴野真秀子

この戦跡訪問で私が感じたこと、それは特攻隊員たちの普遍性でした。知覧や万世の平和祈念館には、特攻隊員たちの遺書が数多く展示されていました。どんな遺書にも、弱音はひとつたりともありません。「笑って征きます」とか、「最大の名誉です」とさえ綴られたものもありました。

人間らしく、現代と何ら変わらないものでした。そんな若者たちが、一つしかない命を犠牲にしていったのかと思うと、私は祈念館の中を歩きながら、何度も涙がこみ上げてきました。

驚くべきことに、最も若くして亡くなった特攻隊員の年齢は、17歳だった

たといいます。まさに、私と同級生なのです。そのことをガイドの方から聞いたとき、本当に衝撃を受けました。17歳の私には、まだまだ将来があります。17歳の彼にもまた、明るい将来があったはずで、そう思ったとき、戦争という言葉がとても身近に感じられて仕方ありませんでした。

言わないでほしい。彼らの死を無駄にするもしないも、私たちがこの戦争の記憶を伝えていくか、いかないか、ということにかかっていると感じます。こうして鹿児島という現地を訪れる経験をした私たちには、それを伝えていく責任があると思います。そして、きっとその責任を果たしていこうと、強く思っています。



戦後80年事業の取り組み

1. 「私の考える戦争と平和」作文募集

戦後80年を迎え、激動の昭和から平成に移り変わる頃から戦後生まれが社会の半数を占めはじめ、今では戦争を知らない世代が9割を超えてきました。あの忌まわしい戦争の惨禍の記憶が風化されないよう次世代に伝えていく取り組みが重要となってきました。滋賀県遺族会では、若い人たちに戦争の恐ろしさと平和の大切さについて考える機会を設けるため、県内の小中学生を対象に「私の考える戦争と平和」がテーマの作文を募集します。締め切り9/8(月)。詳細は右記QRコードでご確認ください。



2. 1の関連イベント

作文の表彰式、戦争と平和を考えるパネルディスカッションを開催します。

日時 11月15日(土) 13時30分～
場所 ピアザ淡海ピアザホール
パネラー 小学生、中学生

3. 啓発活動

(1) 各社新聞掲載 (2) 街頭啓発

4. 滋賀県遺族会戦跡巡拝・遺骨収集写真展

平和祈願「大東亜戦争展」

《展示場所》

大津市、高島市、草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市、近江八幡市、東近江市、竜王町、日野町、愛荘町、彦根市、長浜市、米原市、豊郷町、甲良町、多賀町(⇒各市役所・町役場のフロアを予定)

5. 滋賀県選出・出身国会議員の靖国神社、滋賀県護国神社へ参拝依頼

6. 戦後80年事業への自衛隊の参画

《実施団体》

滋賀県遺族会、英霊にこたえる会滋賀県本部、滋賀県護国神社県民奉賛会

靖國神社参拝を終えて

靖國委員会 奥野 義明

第51回靖國神社参拝旅行は、去る3月9日・10日に実施されました。旅行当日は最高の天候に恵



まれ、県下各地から120名の方々の参加をいただきました。

参集殿において、角野彰夫副会長の進行の下、小鏖隆史参議院議員、日本遺族会盛川英治事務局長、桑野仁滋賀県議会議員、他県選出国会議員秘書様を迎えてのセレモニーが執り行われました。

長から、次のような挨拶がありました。

戦争遺児世代も平均年齢84歳と超高齢化時代を迎え、心身ともにパワー不足がうかがえます。次世代を担う青年部の皆様には発足以来、積極的に遺族会活動に参加いただ

いており、また本会の役員として随所で活躍いただいております。今後ともご英霊のご意思を受け継ぎ、若い斬新な目線と熱志を持って、「英霊顕彰」「平和社会」の実現に向けて邁進していただ

けるものと確信しています。

業者で参詣者用のテントおよび椅子等の準備を行いました。

当日の神事は、宮司の祝詞により厳肅のうちに始まり、続いて来賓等による玉串奉奠へと進み、巫女による舞いが奉納され、終了しました。

ただ、残念ながら、以前ですと、観光バスを何台も連ねて参詣者が多数来場し、会場がにぎわいました。近年は会員の高齢化のせい、参詣者も少なくなり、一抹の寂しさを感じる思いがしました。

す。

私たち戦争遺児も「英霊顕彰」「戦争の風化防止活動」「語り部事業」の実現に向けて活動してまいります。そして、再び悲惨な戦争が起こらないよう、一層の精進と努力を重ねますので、見守ってください。お願い致します。

最後に、今日の平和と繁栄は、ご英霊の尊い礎の上に築かれていることを深く心に刻み、尊崇の誠を捧げ、ご英霊の安らかならん事をお祈り申し上げます。との祭文を奏上されました。

その後、肉親が眠る昇殿で、しばしの再会を過ぎました。来年もこの社頭に來ますとの誓いを胸に、靖國神社を後にし、今回の旅行の見所でもある、2009年に国宝に指定され、諸外国からの賓客をおもてなしする舞台となる「迎賓館赤坂離宮」を見学。その後、一路宿泊先の湯河原

温泉「ニューウエルシテイ湯河原」に向かいました。夜の懇親会は、森田久隆副会長の挨拶と乾杯の発声で始まり、しばらく会員相互の親睦を図る事が出来ました。また、近江トラベル様の日帰りバスツアーお花見クルーズ船招待抽選会、カラオケと大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。

2日目もこれ以上ない最高の晴天に恵まれ、箱根ロープウェイ早雲山駅から大涌谷駅へひと時の空中の旅。ゴンドラと展望台からは噴煙が立ち昇る大涌谷と、青空に雪を頂く富士の雄姿を飽きることもなく眺め、帰路につきました。

最後に、参拝旅行に携わっていただいた皆様方に紙面をお借りし、お礼を申し上げますとともに、来年も靖國神社でお会いできる事を楽しみにしております。

最後に、参拝旅行に携わっていただいた皆様方に紙面をお借りし、お礼を申し上げますとともに、来年も靖國神社でお会いできる事を楽しみにしております。

最後に、参拝旅行に携わっていただいた皆様方に紙面をお借りし、お礼を申し上げますとともに、来年も靖國神社でお会いできる事を楽しみにしております。

最後に、参拝旅行に携わっていただいた皆様方に紙面をお借りし、お礼を申し上げますとともに、来年も靖國神社でお会いできる事を楽しみにしております。

最後に、参拝旅行に携わっていただいた皆様方に紙面をお借りし、お礼を申し上げますとともに、来年も靖國神社でお会いできる事を楽しみにしております。

県護國神社春季大祭を終えて

彦根市遺族会 吉島 利博



滋賀県護國神社春季例大祭が、今年も例年通り、4月5日午前中に、好天のもと盛大に挙行さ

れました。春の大祭に先立って、4月3日には大祭準備のため、彦根市遺族会等と

◎顧問の推薦について

東近江市／今堀治夫氏

(令和7年5月17日)

◎評議員の辞任(福島睦一氏)に伴う

就任について

東近江市／村井稔氏

(令和7年5月17日)

令和7年度 滋賀県遺族会 主要事業計画

時 期	事 業 名	場 所 等
4月5日	滋賀県護國神社春季例大祭	滋賀県護國神社
5月17日	第245回理事会、第64回定時評議員会	滋賀県護國神社
5月6日～8日	沖縄「近江の塔」平和祈念戦没者追悼式、戦跡慰霊巡拝	沖縄県摩文仁の丘ほか
6月1日～9月8日	終戦80周年事業「私の考える戦争と平和作文募集」	提出先: 滋賀県遺族会
6月1日～10月31日	終戦80周年事業平和祈願「大東亜戦争展」パネル展示	各市町遺族会 公共施設
6月29日～30日	終戦80周年事業・全国戦没者遺族代表者会議	日本遺族会九段テラス
8月1日～15日	終戦80周年事業「啓発活動」期間	各市町遺族会現地
8月13日～15日	第49回みたままつり	滋賀県護國神社
8月15日	合同会議	滋賀県護國神社
8月15日	政府主催全国戦没者追悼式参列	日本武道館
8月30日	平和祈念・県下戦没者追悼式(滋賀県主催)	米原文化産業交流会館
9月15日	皇子山陸軍墓地慰霊碑の彼岸法要・滋賀県戦没者英霊(膳所公園)の彼岸法要	大津市皇子山陸軍墓地 膳所公園 ほか
9月15日	第246回理事会	滋賀県立武道館(予定)
9月30日～10月1日	第3ブロック会議(日本遺族会、岐阜市)	グランヴェール岐山
10月5日	滋賀県護國神社秋季例大祭	滋賀県護國神社
10月12日	滋賀県戦没者遺族大会	草津クレアホール

時 期	事 業 名	場 所 等
11月中	海外戦跡慰霊巡拝	中国
11月15日	戦後80年事業「戦争と平和を考えるパネルディスカッション」	ピアザ淡海ピアザホール
12月6日	第247回理事会・第2回合同会議、国会議員・県議会議員とのつどい	アヤハレークサイドホテル
12月中旬	日本遺族会戦没者遺族大会	自由民主党会館ほか
12月31日～1月1日	除夜祭、元旦祭	滋賀県護國神社
1月10日	新年祈願祭	滋賀県護國神社
2月中旬	国内戦跡慰霊巡拝	未定
3月8日～9日	第52回靖國神社参拝旅行	靖國神社ほか
3月21日	第248回理事会	滋賀県立武道館(予定)
3月27日～29日	第25回次世代戦跡訪問研修事業(鹿児島)	鹿児島県知覧ほか
毎月15日	滋賀県戦没者英霊塔月並法要 正・副会長会議	膳所英霊塔 厚生会館
適 時	戦争体験語り部活動	各市町
適 時	各市町要望活動	各市町
適 時	各市町遺族会 会長会	未定
適 時	海外戦跡巡拝写真展	随所
1月・6月	「遺族の友」発行	各市町

令和7年度政府予算における 戦没者遺族の処遇改善等のあらまし

令和7年度政府予算が3月31日に成立しました。
厳しい財政状況の中、特別弔慰金の継続・増額、令和6年度創設の平和の語り部事業の大幅な拡充など、日本遺族会が強く要望してきた項目がすべて盛り込まれました。政府予算に計上された遺族処遇改善等のあらまきは次の通り。

処遇改善の主な事項

- 一、公務扶助料、遺族年金等＝6年度と同額に据え置き
- 二、特別弔慰金等の支給(事務費)＝12億円
〈支給対象件数〉
戦没者等の遺族に対する特別弔慰金＝約57万人
※年5万5000円、5年償還の国債を5年ごとに2回交付
- 三、遺骨収集事業等の推進＝33億円
 - ①遺骨収集事業＝24億円
 - ア. 現地調査及び埋葬地調査(16地域)
 - イ. 遺骨収集(17地域)
 - ②海外公文書館の資料収集＝1900万円
 - ③遺骨の鑑定
 - ア. 身元特定のためのDNA鑑定＝3億1000万円
 - イ. 遺骨鑑定技術の研究実用化検討＝3億1000万円
 - ウ. 分析施設における鑑定実施＝1億4000万円
 - エ. 会議開催経費事務費等＝600万円
 - ④遺骨・遺留品の伝達＝3800万円
(うち戦没者遺留品の返還調査経費＝1700万円)
- 四、戦没者慰霊事業等＝7億5000万円
 - ①全国戦没者追悼式挙行経費＝2億1000万円
 - ②慰霊碑・慰霊巡拝等
 - ア. 慰霊巡拝＝9500万円(10地域)
 - イ. 政府建立慰霊碑の補修等＝5800万円
補修調査・補修工事(マリアナ諸島、東部ニューギニア)
 - ウ. 海外・国内民間慰霊碑の調査・移設等
海外・国内民間建立慰霊碑調査等＝1000万円
国内民間建立慰霊碑移設等(自治体補助)＝1000万円
 - エ. 慰霊友好親善事業＝2億7000万円
洋上慰霊(2特定地域)
 - オ. 平和の語り部事業＝1億円
- 五、昭和館事業＝4億5000万円
- 六、戦没者遺族相談員の謝金(一人当たり年額)＝2万6000円

事務局だより

慰霊友好親善事業

日本遺族会では、国の補助金の交付を受けて、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」を実施しています。

当事業は遺児の高齢化による参加者減少を受け、令和7年度で終了いたします。最後の機会となる令和7年度は、陸上2地域(フィリピン地域一次・二次)の実施を予定しています。戦没者の孫、ひ孫、甥、姪等が付添者として参加する場合も、旅費の補助が認められます。

政府主催慰霊巡拝事業

厚生労働省が実施する令和7年度の慰霊巡拝事業は、次の9地域の予定です。

- ①東北地方、②インドネシア、③東部ニューギニア、④カザフスタン、⑤トラック諸島、⑥ウズベキスタン、⑦硫黄島、⑧フィリピン、⑨パラオ諸島

実施時期は8月中旬以降となりますが、例年同様、4月上旬から順次申し込みが必要な地域もありますので、希望者は早めの準備をお願いします。

□申込方法等

上記2事業の詳細が確定次第、市町の会長および事務局へ案内・申込書をお送りします。申し込みには戦没者の所属部隊名簿の調査等が必要です。

申し込み・問い合わせは、下記までお願いします。

滋賀県遺族会事務局 ☎077-522-7227

戦後80年の思い

ふいふいなみ

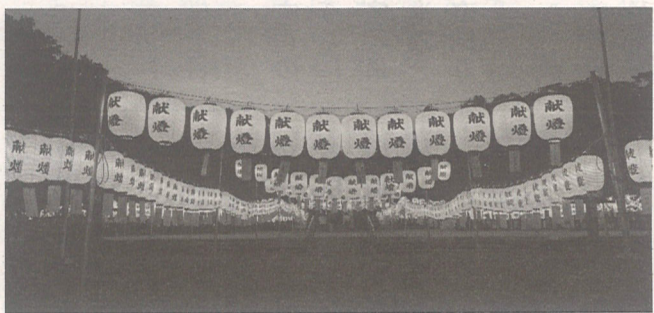
甲賀市遺族会

松本一治

私の父は、昭和18年4月20日に沖縄海戦で戦死しました。その時、私は2歳でした。最後に父が沖縄に行く前に、舞鶴港へ母と一緒に父を見送りに行ったそうです。父がいくら呼びかけても、私はぐっすり眠っていたとのことでした。父が戦死した後は、家が農家ということで、どうしても

男手が必要でした。そのため、父の弟が母と再婚し、女の子が2人生まれました。そうなる、私の立場は、だんだん居づらくなってきました。私は長男ですが、家を出て一人暮らしを始めました。そんな時に妻と出会い、色々話をする中、妻の実家は東京の深川と聞き、東京大空襲で家も焼け、お父さんも亡くなった。

滋賀県護國神社 みたままつり献灯のご案内



「第49回みたままつり」を8月13日(水)から15日(金)までの3日間執り行います。

ご遺族、崇敬者の方々からの多くの献灯をお願いします。

【献灯初穂料】 大型献灯＝1灯5000円
小型献灯＝1灯2500円

くなったようでした。互いによく似た境遇の者同士の出会いが生まれたことを知り、一人娘の妻と結婚話になって、21歳で結ばれまし

た。私も今年で82歳を迎えることができました。今は亡き父に感謝する毎日です。

滋賀県護國神社 英霊顕彰館だより

【入館者ノート】 ※原文のまま
☆1月5日
今日は父の月命日。昭和20年5月5日沖縄で戦死、30歳でした。私が2歳の時、祖母、母との3人暮らしが始まりました。平和な今、家族に恵まれ、今年82歳になります。平和な毎日に日々感謝です。
(東近江市男性)

☆1月11日
皆様、どうぞ安らかに眠りください。身の引き締まる思いです。当たり前の現況に今一度考え「ありがたい」の気持ちを、持つ平和な日本を有り続けられる様努力して参ります。
(甲賀市男性)

☆2月1日
天川清三郎命の遺留品(寄せ書き日章旗)を京都市右京区にお住まいの遺族に返還することができました。天川清三郎命京都平安中学投手、夏の大会

で全国優勝、プロ野球「南海軍」入団、応召後フィリピンレイテ島にて戦死。(京都府男性)

【来館者数】 ※ノート記載者のみ
1月19日 2月11日
3月6日 4月13日
5月17日

近年ご遺族の高齢化により、英霊のお写真を処分される家庭が増えています。
「滋賀県英霊顕彰館」では、御祭神を目に見る形で多くの方々に知っていただくこと、県内ご遺族の方々から英霊のお写真をお借りし、半永久的に展示・掲揚できるようにアルミ板を使って約7000枚の写真を展示・掲揚しています。まだスペースがありますので、展示・掲揚をご希望の方は、護國神社事務所までお問い合わせください。
(広報委員会)

中国湖南省との戦後80年平和交流事業

滋賀県では戦後80年を迎える今年、中国湖南省と平和交流事業を実施します。

令和7年11月7日(金)～11日(火)【4泊5日】

募集の詳細については、追ってご案内いたします。